

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 みのり村 障害児入所施設 第1みのり学園
------	--------------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成26年1月24日

③事業者情報

名称：社会福祉法人 みのり村 障害児入所施設 第1みのり学園	種別：障害児入所施設
代表者氏名：理事長 大木 隆	定員（利用人数）30名
所在地：大分県速見郡日出町大字大神1616 TEL：0977（72）2818	

④総評

◇評価の高い点

- 当事業所は利用者本位のサービスを提供し、一人ひとりの個性を伸ばし、自立できるように支援している。特に、人材の育成として人事考課を取り入れ、多くの職員は働きながら学び、専門資格を取得している。
- 管理者はリーダーシップを発揮して質の向上に意欲をもち、第三者評価を定期的受審している。また、支援計画表は一人ひとりの意向をもとに作成し、絵画展や園芸活動を通じて、住民とのふれあいが多くなっている。
- 理念や運営方針が明文化され、日々の支援に活かされている。特に運営方針の「私たちは、利用される皆様の視点に立ち、個々の声を聴き、安心・安全で充実した生活ができるようサービスの提供に努めます」に沿って、日々のケアに取り組んでいる。管理者の責任とリーダーシップにより、職員は個別のケアに意欲的である。
- 理念や基本方針に沿い、障害児の相談事業やデイサービス・ショートステイの受入れをしている。
- 経営状況の把握は、毎月、外部監査を税理士に依頼し、定期的に結果を広報誌などに掲載している。
- 防災体制が整備され、発生時に於ける災害の対応として、地震や・風水害・火災を想定し、消防署と連携して災害訓練が行われている。
- 地域と利用者との関わりを大切にし、利用者の作品展や花・種苗の販売・避難場所の提供、また、民生委員の研修など受け入れている。
- 「みのりアーティスト」として玄関先に利用者の作品を展示しており、利用者の作成意欲を高める効果が顕著にみられている。
- 宿泊親睦会を実施して利用者等と職員とのコミュニケーションを確保するための取り組みを行い信頼関係構築のための取り組みを積極的に行っている。

○職員に対して「もし自分が利用者なら」のアンケートを実施し、利用者の立場から考える事ができるような取り組みや、独自に法人内で他事業所の管理者が20項目からなる書面と現地確認で、サービス内容についての評価を行い改善計画を策定することでサービスの質の向上と利用者満足の向上につなげている。

改善を求められる点

- 理念や基本方針に沿った中・長期計画の作成が期待される。
- 苦情申立をした利用者等に配慮をしたうえで、潜在的な同じ思いを持った利用者等へも苦情内容や対応について伝達することに期待したい。
- 標準的なケア内容についての実施方法マニュアル作成に期待したい。
- 利用者同時の話し合いについては課題も多いが、自己選択から自己決定、自己実現につなげるために自治会など利用者同士が話し合える機会を設けることを期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回第三者評価を受審しようとした理由は、自分達が日々提供しているサービスを外部の方に見て頂くことで客観視すること、また、それによりサービスの質の向上を図り利用者の方への満足の得られる生活空間作りに繋げていく、という大きく二つの目的で受審しました。

調査項目に沿って確認していく中で、日頃気をつけている事や設置していたもの等が実際は行えておらず不十分であったということに気付くことができました。「改善すべき点」は勿論のこと、「できている」として評価された点についても今一度職員全員で振り返り、必要な部分は協議・改善していくことでより良い福祉サービスの提供に繋がっていきたいと考えています。

第三者評価を受審することが目的ではなく、受審して浮き彫りになった各課題を今後どのように改善更に向上させていくか、そこまで行って初めて第三者評価を受審した意味合いが生まれてくるのだという点に気付けたことも非常に有意義であったと感じています。

今後、利用者さんや当事業所に関係する様々な機関の方々にとって、認められ必要とされる事業所を目指し日々取り組んでいくと同時に、職員全体で研鑽を深めてまいりたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）